

平成22年度 販売電力量

1 概況

平成22年度の販売電力量は、874億74百万kWhとなり、前年に対し+4.9%となった。

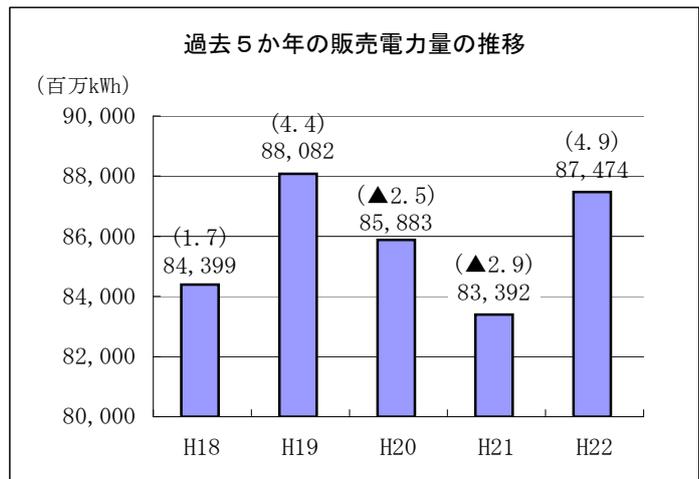
(平成19年度以来、3年ぶりに前年を上回り、過去2番目)

○用途別実績 (百万kWh,%)

		実績	対前年 伸び率
特定規模 需要以外の 需要	電 灯	31,151	6.8
	電 力		
	低 圧	4,903	4.5
	そ の 他	845	▲ 1.0
	小 計	36,899	6.3
特定規模 需要	業 務 用	20,264	1.6
	産 業 用	30,311	5.5
	小 計	50,575	3.9
合 計		87,474	4.9

(注)産業用電力には、その他電力を含む

(再掲)	一 般 需 要	63,636	4.3
	大 口 電 力	23,838	6.4



()は対前年伸び率

○平成22年度月別対前年伸び率 (%)

	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	年度
一般需要	4.6	3.0	▲ 0.2	1.9	4.3	10.4	4.0	4.1	4.3
大口電力	7.1	6.6	4.2	5.9	5.3	5.6	6.5	5.7	6.4
合計	5.3	4.0	1.1	3.1	4.5	9.2	4.7	4.5	4.9

○至近5年の対前年伸び率 (%)

	H18	H19	H20	H21	H22
一般需要	▲ 0.1	3.6	▲ 1.6	▲ 1.4	4.3
大口電力	6.8	6.4	▲ 4.7	▲ 6.7	6.4
合計	1.7	4.4	▲ 2.5	▲ 2.9	4.9

2 用途別実績

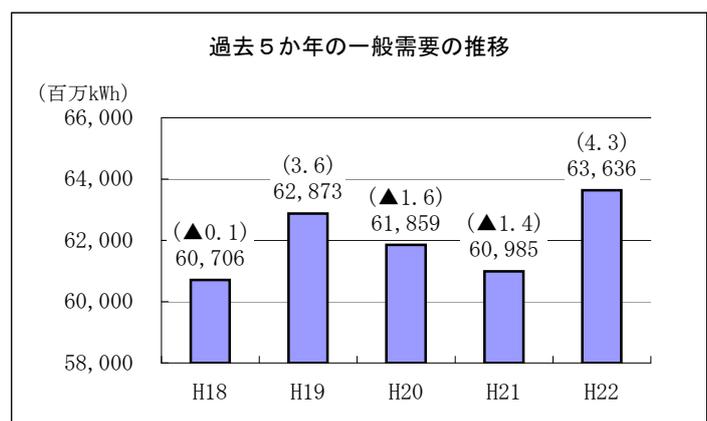
(1) 一般需要(販売電力量合計から大口電力を除いたもの)

気温が前年に対し夏季は高め、冬季は低めに推移したことによる冷暖房需要の増加などから、前年に対し+4.3%となった。

(平成19年度以来、3年ぶりに前年を上回り、過去最高)

平均気温(九州7県平均) (°C)

	実績	平年差	前年差
4月	14.4	▲ 0.8	▲ 1.4
5月	19.5	0.2	▲ 0.6
6月	23.3	0.5	▲ 0.3
7月	27.4	0.5	0.6
8月	29.7	2.2	1.7
9月	26.2	2.1	1.3
10月	20.1	1.2	0.5
11月	13.3	▲ 0.3	▲ 0.6
12月	8.9	0.2	0.0
1月	3.9	▲ 2.6	▲ 2.8
2月	8.6	1.4	▲ 1.1
3月	9.0	▲ 1.3	▲ 2.3



()は対前年伸び率

(2) 大口電力需要

鉄鋼や化学、非鉄金属などの生産が増加したことから、前年に対し+6.4%となった。

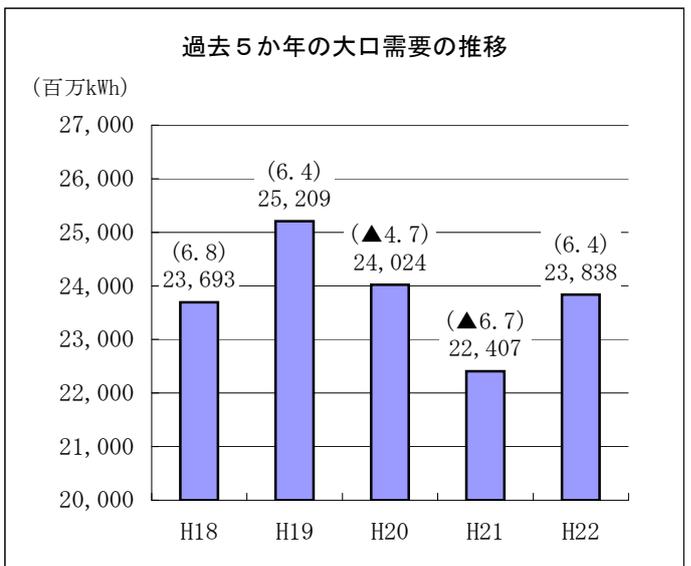
(平成19年度以来、3年ぶりに前年を上回り、過去3番目)

(百万kWh, %)

	実績	対前年 伸び率	構成比	特徴
機 械 計	6,884	3.7	28.9	
電気機械	4,800	2.5	20.1	半導体の生産増など
輸送用機械	1,571	5.7	6.6	自動車の生産増など
鉄 鋼	2,268	13.8	9.5	粗鋼の生産増など
化 学	2,581	8.8	10.8	ウレタンの生産増など
窯 業 土 石	976	8.0	4.1	炭素製品の生産増など
食 料 品	2,279	3.3	9.6	一部工場における生産開始など
パ ル プ ・ 紙	465	3.4	2.0	一部工場における自家発稼動減など
非 鉄 金 属	1,878	13.2	7.9	シリコンウエハーの生産増や一部工場における本格稼動など
そ の 他	6,507	5.2	27.2	一部工場における生産増など
合 計	23,838	6.4	100.0	

○至近5期大口電力主要業種別対前年伸び率 (%)

	H20		H21		H22	
	下	上	下	上	下	上
機 械 計	▲15.7	▲17.7	3.8	6.7	0.6	
電気機械	▲16.7	▲19.3	1.0	4.3	0.6	
輸送用機械	▲12.5	▲12.2	14.2	12.7	▲0.9	
鉄 鋼	▲33.0	▲32.8	▲4.0	6.4	21.3	
化 学	▲12.8	▲13.5	9.7	11.3	6.5	
窯 業 土 石	▲8.2	▲25.5	▲15.2	7.2	8.6	
食 料 品	1.6	0.8	0.1	3.3	3.2	
パ ル プ ・ 紙	15.3	▲4.0	▲5.5	2.1	4.8	
非 鉄 金 属	▲12.3	▲13.0	14.3	17.4	8.9	
そ の 他	▲6.7	▲7.6	3.2	5.1	5.4	
合 計	▲12.8	▲14.5	2.6	7.1	5.7	

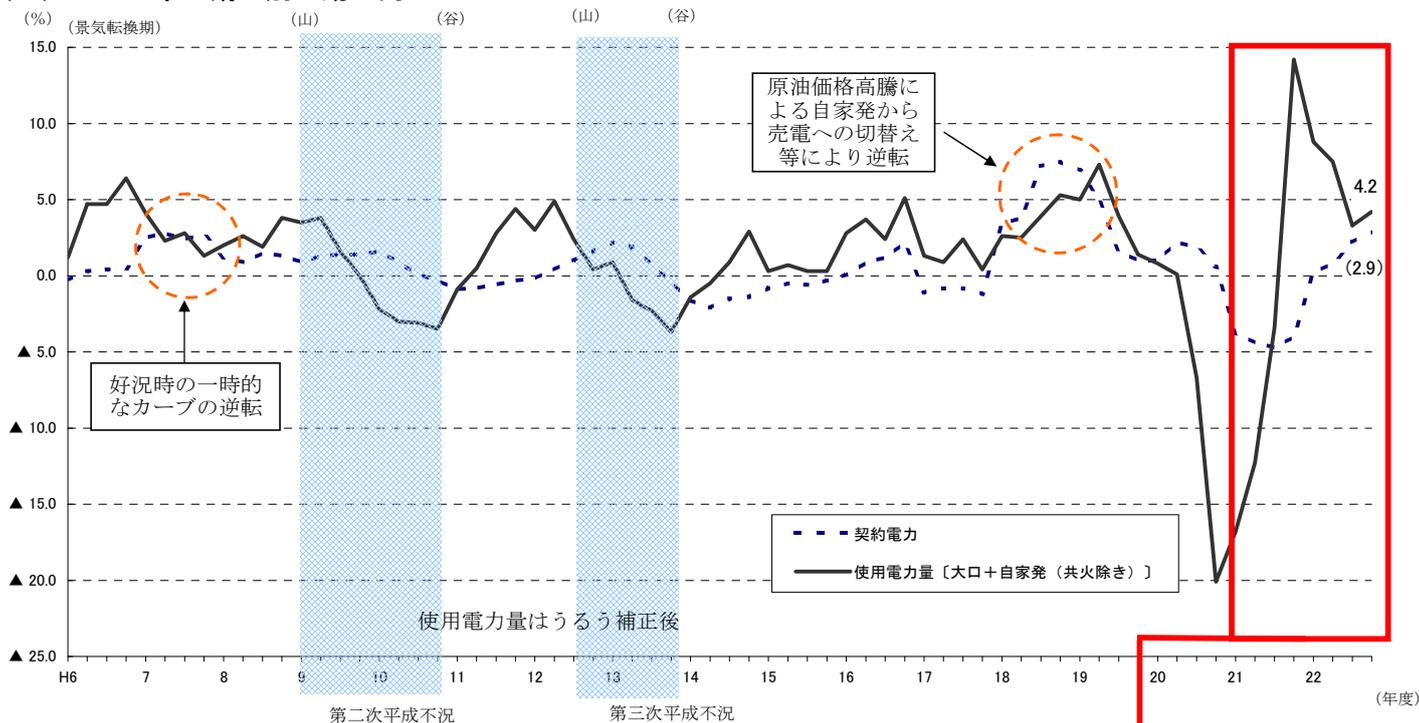


()は対前年伸び率

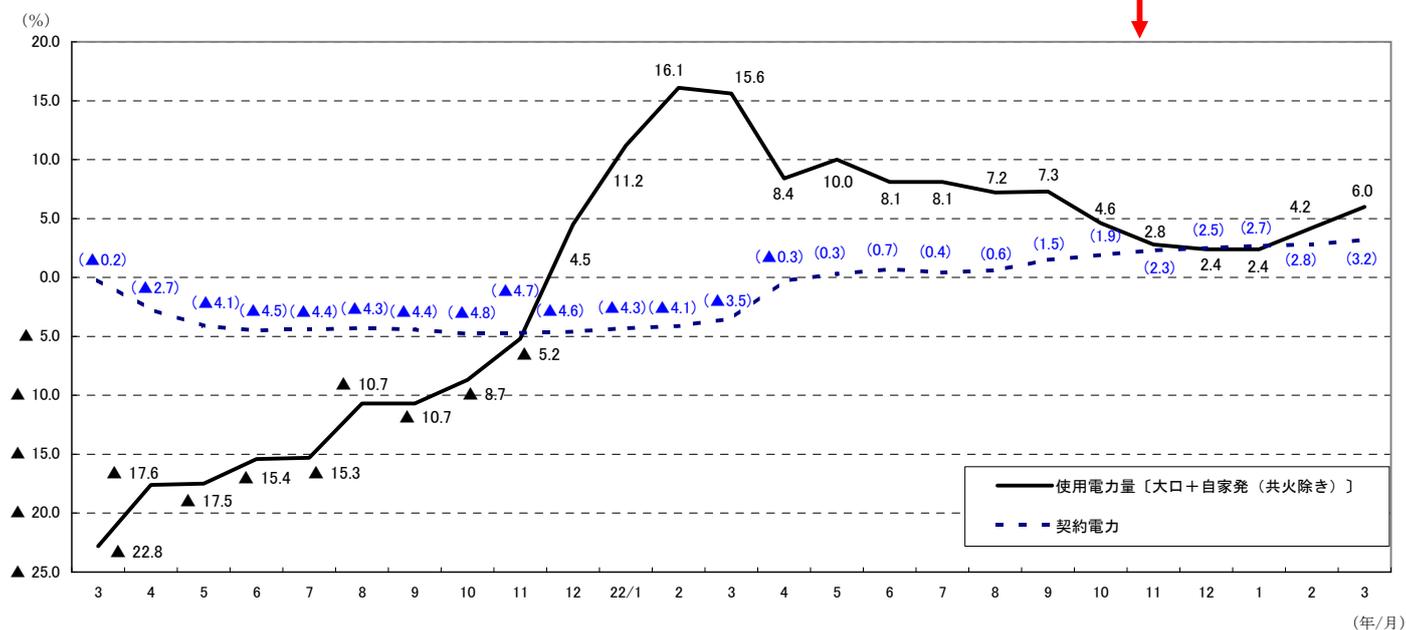
以 上

大口電力の契約電力と使用電力量の推移（大口カーブ）

(1) 四半期別動向



(2) 月別動向



○ 大口カーブについて

景気動向の物差しの一つとしている大口カーブについては、2か月連続で使用電力量の伸びが契約電力の伸びを上回りました。

大口カーブは一般的に、「使用電力量」の伸びが生産活動の活発さを、「契約電力」の伸びが工場などの生産能力と、設備投資の伸びを反映しており、好況時には使用電力量の伸びが契約電力の伸びを上回り、不況時にはその逆の現象が起こります。

そのため、一時的な大口カーブの逆転はあったものの九州の景気は緩やかに回復していたものと考えられますが、東日本大震災の影響により、景気の先行きには不透明感が強まっており、今後の動向を注視していきます。

＜大口カーブの諸元＞

上段：大口契約電力対前年同期比（％）

下段：大口販売電力量＋自家発使用電力量（共火除き：うるう補正後）の対前年同期比（％）

（四半期毎）

	6				7				8			
契約電力	▲0.3	0.3	0.4	0.5	2.5	2.8	2.4	2.7	1.2	0.9	1.5	1.3
使用電力量	1.2	4.7	4.7	6.4	4.1	2.3	2.8	1.3	2.0	2.6	1.9	3.8

← 第二次平成不況 →

	9				10				11			
契約電力	0.9	1.3	1.4	1.4	1.6	0.9	0.1	▲0.3	▲0.9	▲0.8	▲0.6	▲0.3
使用電力量	3.5	3.8	1.6	0.0	▲2.2	▲3.0	▲3.1	▲3.5	▲0.9	0.5	2.8	4.4

← 第三次平成不況 →

	12				13				14			
契約電力	▲0.2	0.4	1.0	1.6	2.2	1.9	0.7	▲0.4	▲1.6	▲2.1	▲1.5	▲1.4
使用電力量	3.0	4.9	2.4	0.4	0.9	▲1.6	▲2.3	▲3.7	▲1.4	▲0.5	0.9	2.9

	15				16				17			
契約電力	▲0.8	▲0.5	▲0.6	▲0.3	0.1	0.9	1.2	2.2	▲1.1	▲0.8	▲0.8	▲1.2
使用電力量	0.3	0.7	0.3	0.3	2.8	3.7	2.4	5.1	1.3	0.9	2.4	0.4

うるう補正前<1.1>

うるう補正前<4.3>

	18				19				20			
契約電力	3.4	3.8	7.2	7.5	6.9	5.0	1.6	1.0	1.0	2.2	1.9	0.6
使用電力量	2.6	2.5	3.9	5.3	5.0	7.3	3.9	1.4	0.8	0.1	▲6.7	▲20.1

うるう補正前<2.5>

うるう補正前<▲21.0>

	21				22				23			
契約電力	▲3.8	▲4.4	▲4.7	▲4.0	0.2	0.8	2.2	2.9				
使用電力量	▲16.8	▲12.3	▲3.4	14.2	8.8	7.5	3.3	4.2				

（月 別）

	19/4	5	6	7	8	9	10	11	12	20/1	2	3
契約電力	7.4	6.9	6.5	5.4	5.0	4.7	2.1	1.6	1.2	0.9	0.9	1.1
使用電力量	5.5	4.5	5.1	5.8	7.0	9.2	6.6	2.8	2.1	2.1	1.6	0.5

うるう補正前<5.3>

	20/4	5	6	7	8	9	10	11	12	21/1	2	3
契約電力	0.6	1.3	1.2	2.1	2.3	2.1	2.0	2.0	1.7	1.2	0.8	▲0.2
使用電力量	1.2	0.8	0.5	3.4	▲1.5	▲1.6	▲3.8	▲5.0	▲11.4	▲16.1	▲21.2	▲22.8

うるう補正前<▲23.9>

	21/4	5	6	7	8	9	10	11	12	22/1	2	3
契約電力	▲2.7	▲4.1	▲4.5	▲4.4	▲4.3	▲4.4	▲4.8	▲4.7	▲4.6	▲4.3	▲4.1	▲3.5
使用電力量	▲17.6	▲17.5	▲15.4	▲15.3	▲10.7	▲10.7	▲8.7	▲5.2	4.5	11.2	16.1	15.6

	22/4	5	6	7	8	9	10	11	12	23/1	2	3
契約電力	▲0.3	0.3	0.7	0.4	0.6	1.5	1.9	2.3	2.5	2.7	2.8	3.2
使用電力量	8.4	10.0	8.1	8.1	7.2	7.3	4.6	2.8	2.4	2.4	4.2	6.0